

都民ファーストの会

豊島区議団・民主の会

発行元
都民ファーストの会 豊島区議団・民主の会
 区政のことはお気軽にご相談ください

■ 〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1-9F
 ■ TEL: 03-4566-2946
 ■ FAX: 03-3980-2346
 ■ e-mail: info@tominfirst-toshima.tokyo

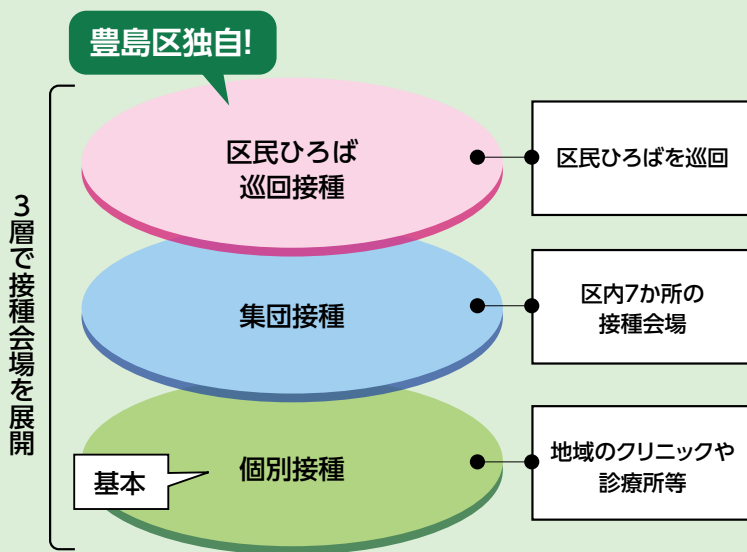
新型コロナウイルス感染症への対応

1月8日に発出された緊急事態宣言は2度に渡り延長され、3月21日に解除されました。東京都は3月22日から31日を段階的緩和期間、4月1日から21日をリバウンド防止期間と位置づけ、更なる対応を行っています。豊島区におきましても引き続き感染拡大防止に万全を期すため、緊急事態宣言期間中の措置に準じ、区立施設等の開館時間短縮や一部イベントの自粛を継続します。(3月24日現在)

豊島区のワクチン接種体制

- ・ **個別接種** かかりつけ医などの身近な医療機関での実施
- ・ **巡回接種** 地域コミュニティ施設「区民ひろば」での実施
- ・ **集団接種** 区内各エリアでの実施

区分	場所	個所数	実施日	予約先	接種目標
個別接種	医療機関 (診療所など)	約200か所 (目標)	各医療機関で 実施する日時	各医療機関	70%
巡回接種	区民ひろば	19か所	平日・土日 ※施設により異なる	コールセンター(電話) +	20%
集団接種	区施設	7か所	平日・土日・祝日 ※施設により異なる	接種予約 システム	10%



●ワクチン接種に関する問い合わせ先

- 豊島区新型コロナウイルスワクチンコールセンター
 電話番号: 0120-567-153 受付時間: 9時00分～18時00分(全日)
- 厚生労働省新型コロナウイルスワクチンコールセンター
 電話番号: 0120-761-770 受付時間: 9時00分～21時00分(全日)
 視覚に障害のある方は、一般財団法人全日本ろうあ連盟ホームページをご覧ください。

会派として区長への緊急要望

1月6日

- ・ 緊急事態宣言が発出された場合の区主催のイベント開催については、中止や延期、オンライン開催、規模の縮小、無観客での開催の検討を。
- ・ 緊急事態宣言が発出された場合でも、区立幼稚園、小中学校、保育所等については休業要請せず、感染防止対策を徹底し、教育・保育を継続されたい。また、休業要請を行う状況となった場合も想定し、今年度配備を行った一人一台のタブレットPCを活用するなど、対面での指導が実施できない事態へ備えられたい。など7項目

1月28日

- ・ 「新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金」について、対象期間と申請期限が延長になったこと等を周知し、対象者が円滑に給付を受けられるように支援を。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大により経済的な影響を受けやすいひとり親家庭への更なる支援の検討を。
- ・ 新型コロナワクチン接種の開始準備につき、自治体・医療従事者・関係者のいずれも経験したことのないオペレーションとなることから、関係各位との連携を密に接種体制を整えられたい。など14項目



■ 新型コロナウイルス感染症に関する最新の情報は、国・都・区のWEBサイトでご確認ください。
 ご不明な点は下記相談窓口、又は会派所属議員へお問合せください。



帰国者接触者電話相談センター 03-3987-4179
 新型コロナ予防・検査・医療に関する相談 0570-550571
 区民相談コールセンター(健康面以外) 03-4566-2466



細川 正博
 会派幹事長
 環境・清掃(特委)委員長



里中 郁男
 会派副幹事長
 区民厚生委員長



永野 ひろ子
 行財政(特委)委員長



河原 弘明
 区議会副議長



星 京子
 子ども文教副委員長



中澤 まさゆき
 副都心(特委)小委員



元谷 ゆりな
 副都心(特委)副委員長

第1回定例会

令和3年第1回定例会は、2月10日から3月23日まで行われました。

2月17日の一般質問では、**永野ひろ子議員**が登壇し、「**持続可能な地域社会のために**」と題して、令和3年度予算と重点施策のデジタルトランス・フォーメーション推進等、生活困窮者支援のお米等の配布の継続実施等、新型コロナウイルスワクチン接種体制の進捗と課題、予防医療施策として带状疱疹ワクチンの啓発、電話リレーサービスの積極的な情報提供等、新たなニーズに対応した保育政策、タブレットPC一人1台配布後の学校ICT活用等について提言を行いました。

翌18日には**元谷ゆりな議員**が登壇し、「**希望あふれる街としまを目指して**」と題して、不燃化特区・特定整備路線の進捗確認と今後の進め方について、AYA世代のがん対策、食品ロス削減対策、アーティスト支援について質疑と提案を行いました。

議案は、令和3年度豊島区一般会計予算等 区長提案21件、女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書等 議員提案3件、請願1件、陳情20件、その他2件を審議しました。



予算特別委員会 令和3年度予算を可決。新型コロナ対応、デジタル化推進などを盛り込んだ予算。

第1回定例会の会期中、予算特別委員会が開催され、我が会派は、**里中郁男議員、星京子議員、細川正博議員、元谷ゆりな議員**が委員として審査に臨み、令和3年度一般会計、3特別会計予算案の可決に賛成しました。

私たちの会派では、都民ファーストの視点、情報公開が十分か、賢い支出がなされているか、持続可能性があるか、という4つの観点の他、目下最大の課題である新型コロナウイルス感染症対策がしっかりと図られているか、という視点を加えて審議。

一般会計予算は約1302億円（前年比約19億円増）と過去2番目の予算規模。待機児童対策、基金積立金増、原則として区の負担が生じない市街地再開発事業費の大幅増などが要因です。歳入は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、基幹歳入（財政調整交付金、区民税、地方消費税交付金）は約66億円の減収が見込まれるため、財政調整基金の効果的な活用や必要に応じた起債など財源対策を講じる必要があります。

9日間の質疑を通じて、コロナ禍での財政運営であることを踏まえ、持続可能な財政運営を堅持することに主眼を置いている中でも、3年度の4つの重点テーマと2030年に向けた中長期的なテーマを掲げてSDGsの視点から全事業を推進し、持続発展都市とするためのものであることを確認しました。



池袋の都市再生

躍動始めた豊島区、その先の未来像を示すべく「池袋の都市再生」が予算の重点テーマとなりました。池袋東口・西口の各再開発の方針や、駅前広場の歩行者空間化や、駅から街へと人を誘導する動線などを狙った整備構想は壮大な規模であり、持続発展都市へつながる将来を見据えたまちづくりであると確認しました。また、まちづくりはそこに住む人たちの熱い思いがそのまちを創り上げていきます。地域の方達の声を取り入れながら、一緒にまちづくりを築き上げていくことを要望致しました。

「ひと」が主役の「SDGs未来都市」を池袋から世界に発信

乗降客265万人の「駅袋（エキブクロ）」を大改造
駅東西の開発により国内最大級の歩行者広場を整備
駅からまちに人を誘引する、ウォーカブルな都市空間

池袋駅東口グリーン大通り広場化



東京をリードする「国際文化都市」豊島区へ



池袋駅西口地区駅前広場

駅袋（エキブクロ）脱却
池袋駅東西を国内最大級の歩行者空間に

会派からの要望が実現しました！！

■食品ロス削減の取組み

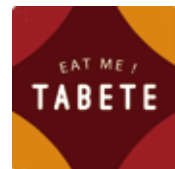
食品ロス削減に向けた具体的な取り組みの一つとして、食品ロス削減と消費者の意識向上などを目的としたスマホアプリ「TABETE（タベテ）」が有用です。

このアプリは、まだおいしく完全に食べられるのに、店舗では売り切るのが難しい食事をお得に「レスキュー（購入）」できるフードシェアリングサービスです。

つくりすぎてしまったパンやお惣菜、予約のキャンセルが出てしまった食事、食材の端材でつくったオリジナル商品など、様々なおいしい食事が出品され、お得に商品が買えるだけでなく、レスキューしたことによってお店が捨てずに済んだグラム数・自分が削減したCO₂排出量が表示される事により、自分がどれだけお店と環境問題に貢献できたかを数字で確認することができます。

豊島区は、このアプリを運営する（株）コークッキングと令和3年3月29日に「食品ロス削減に向けた連携協定」を締結しました。この連携協定は、会派から区へ要望し、実現したものです。

食品ロス削減に向けて、ぜひ一度このアプリを利用してみてください！



■子どもスキップ「放課後子ども教室オンライン配信」の実施

「放課後子ども教室」では、地域の方々にご協力いただき、学習・スポーツ・文化活動など様々な体験、交流活動を行っておりますが、昨年度は新型コロナウイルス感染症予防のため休止を余儀なくされていました。

そこで、会派から要望し、区立小学校に通う児童を対象に「G suite for Education」を使って、ダンス教室や工作教室など、家でも簡単にできる体験動画の配信を実施していただきました。

配信期間：3月1日～4月30日

視聴方法：各子どもスキップの3月のお知らせをご覧ください。

お問い合わせ：放課後対策課児童支援グループ / 03-3981-1178